

## 052 室町時代 産業の発達③

◎勘合貿易の実権が移行

応仁の乱前…幕府(五山)



応仁の乱後、勘合を保有するのは

あ 周防の守護大名 大内氏

い 畿内の守護大名 細川氏

※大内氏は 博多の商人 と結ぶ

細川氏は 堺の商人 と結ぶ

※畿内の外港の盛衰

大輪田泊 (神戸市)

が応仁の乱で破壊、衰退



細川氏領内の 堺 が代わりに発展

(理由) 日明貿易の拠点として 発展

明… 日明貿易を制限したい

(理由) 運搬費・滞在費、回賜の負担感

1523年 寧波の乱

大内氏と細川氏が

寧波で武力衝突 を起こした事件

(結果) 大内氏が勝利し、貿易独占

大内氏の城下町 山口 (西京) 繁栄

• 水墨画家 雪舟 を支援

→ 貿易船 に同乗して明に渡った。

• フランシスコ・ザビエル に

布教許可。2年滞在。

(戦国時代)

家臣 陶晴賢 の謀反(下剋上)

により大内氏滅亡

→ 日明貿易も断絶

※1547年が最後の勘合貿易。

(結果) 中国人海商が海禁政策に反して  
密貿易を開始。

(明の役人に捕まれば死罪)

→ 倭寇再開 (後期倭寇)

首領… 王直

根拠… 五島列島 (長崎県)